

【その他修正】 基本構想（案）変更箇所一覧

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
1	目次	目次	<ul style="list-style-type: none"> ・第2章第2項 古来から海と<u>ともに</u>発展 ・第5節 各主体に寄せる期待・・・18 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2章第2項 古来から海と共に発展（同様に4頁修正） ・第5節 各主体に寄せる期待・・・19
2	1頁	第1編 第1章 第1節 (1) はじめに	ともに考え、ともに行動に移し、	共に考え、共に行動に移し、
3	1頁	第1編 第1章 第1節 (2) 策定の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の総合的、計画的な行政推進の指針となります。 ・地方においては、<u>少子高齢化社会への対応</u>、 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の総合的、計画的な<u>まちづくり</u>の指針となります。 ・地方においては、<u>少子化・高齢化をはじめ</u>、
4	2頁	第1編 第1章 第1節 (4) 計画の期間		(表中に後期実行計画の期間を追加) 後期 2023年4月～2027年3月
5	4頁	第1編 第2章 第1節 (1) 丹後国田辺城築城・城下町として発展	細川藤孝（幽齋）	細川藤孝（幽齋）
6	5頁	第1編 第2章 第1節 (6) 多様な交流のまち舞鶴	<ul style="list-style-type: none"> ・5万トン級の船舶が接岸可能な… ・舞鶴国際ふ頭が一部供用を開始し、東アジア圏域との国際物流の拠点として、機能拡大が図られています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5万トン級の貨物船が接岸可能な… ・舞鶴国際ふ頭が一部供用を開始し、<u>2018（平成30年）4月の機能強化工事の完了により、コンテナ船とバルク船（ばら積み貨物船）の2隻同時着岸による荷役作業や16万トン級の大型クルーズ船の着岸も可能となるなど、東アジア圏域との国際物流・人流の拠点として、機能拡大が図られています。</u>
7	5頁 6頁	第1編 第2章 第1節 (7) 現在の舞鶴市	<ul style="list-style-type: none"> ・旧軍港四市（舞鶴市、横須賀市、佐世保市、<u>呉市</u>）の ・突入するなか、 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧軍港四市（舞鶴市、横須賀市、<u>呉市</u>、佐世保市）の ・突入する中、
8	7頁	第1編 第2章 第2節 (1) ①人口減少の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>2040年</u>の日本の総人口は1億人を下回る ・1899（明治32）年の統計開始<u>以来</u>初めて 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>2053年</u>の日本の総人口は1億人を下回る ・1899（明治32）年の統計開始<u>以降</u>初めて
9	7頁	第1編 第2章 第2節 (1) ①人口減少の現状		(グラフに関する説明の追加) ※内訳の合計が総数と異なるのは年齢不詳者の数による。
10	8頁	第1編 第2章 第2節 (1) ①人口減少の現状	(グラフタイトル) ■年齢区分別人口構成の推移と予測（全国）	■年齢区分別人口割合の推移と予測（全国）
11	8頁	第1編 第2章 第2節 (1) ①人口減少の現状	(グラフ数値) 1955年 年少人口 <u>33%</u> 2015年 老年人口 <u>26%</u>	(和が100%となるように端数を調整) 1955年 年少人口 <u>34%</u> 2015年 老年人口 <u>27%</u>
12	8頁	第1編 第2章 第2節 (1) ②人口の東京圏一極集中	東京都（1351万5271人）で、神奈川県、埼玉県、千葉県を合わせた東京圏の人口は3,613万600人	東京都（1,351万5千人）で、神奈川県、埼玉県、千葉県を合わせた東京圏の人口は3,613万人

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
13	9頁	第1編 第2章 第2節 (1) ③人口減少・少子高齢化、東京一極集中に対応する国の動き	①「自治体SDGs」 ②第4次産業革命と呼ばれるIoT(モノのインターネット)や ③今後の人口減少や少子高齢社会にあっても、 <u>経済を、人々の暮らしを</u>	①(左欄の下線部を削除)「SDGs」 ②(左欄の下線部を削除し注釈を追加) 第4次産業革命と呼ばれるIoT ^(※2) や ※ ² IoT…Internet of Thingsの略。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービスやビジネスモデルのこと。 ③(左欄の下線部を削除) 今後の人口減少や少子高齢社会にあっても、人々の暮らしを
14	10頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	①本市の人口は2020(平成32)年には ②いわれています。 ③年少人口(0から14歳) ④老年人口(65歳以上)比率	①(左欄の下線部を削除) 本市の人口は2020年には ②いわれています。 ③年少人口(0～14歳) ④老年人口(65歳以上)の比率
15	10頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題		(用語解説の追加) ※扶助費…社会保障制度の一環として、高齢者や児童、心身障害者等に対して行っているさまざまな福祉サービスに要する経費。任意に節減できない硬直性の強い経費として義務的経費に分類される。
16	10頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	(グラフ数値) 2035年 63428	2035年 63,428
17	10頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題		(グラフに関する説明の追加) ※内訳の合計が総数と異なるのは年齢不詳者の数による。 ※2015年は「年齢・国籍不詳をあん分した人口」による。
18	11頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	(グラフタイトル) ■舞鶴市の年齢区分別人口の推移と予測	■舞鶴市の年齢区分別人口割合の推移と予測
19	11頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	(グラフ数値) 1975年 年少人口24% 1985年 年少人口21% 2035年 年少人口12%	(和が100%となるように端数を調整) 1975年 年少人口23% 1985年 年少人口22% 2035年 年少人口11%
20	11頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	①(グラフタイトル) ■人口動態推移 ②(グラフ数値) 2013年転出者数 3,918	①■舞鶴市の人口動態推移 ②2013年転出者数 3,917 ③2016年、2017年、2018年の数値を追加
21	11頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	出展：舞鶴市統計書	出典：舞鶴市統計書、2018年は舞鶴市推計値
22	12頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	(グラフタイトル) ■年齢区分別人口構成	■舞鶴市の人口ピラミッド
23	12頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題		・2015年グラフ数値の修正 ・2015年グラフに関する説明の追加 ※「年齢・国籍不詳をあん分した人口」による。
24	12頁	第1編 第2章 第2節 (2) 本市の現状と課題	出展	出典

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
25	13頁	第1編 第2章 第3節 (1) 日本海側の国際港湾 ゲートウェイ拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・2011（平成23）年11月に ・北近畿の中核都市であり、舞鶴若狭自動車道や… 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市は、2011（平成23）年11月に ・北近畿の中核都市です。 今日、舞鶴若狭自動車道や
26	15頁	第1編 第3章 第1節 (2) ①便利な田舎暮らし ができるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・少し足を伸ばせば ・生活の質の向上に繋がる ・未来型の便利な田舎暮らしを目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少し足を延ばせば ・生活の質の向上につながる ・未来型の便利な田舎暮らし（舞鶴版 Society5.0）を目指します。
27	15頁	第1編 第3章 第1節 (2) ③	③住み続けたいと思えるまち、人が集う 魅力あるまち、	(左欄の下線部を削除) ③住み続けたいと思えるまち、人が集う 魅力あるまち
28	17頁	第2編 第1章 第1節 都市像	市民と行政が、 <u>とも</u> に未来に向けた	市民と行政が、 <u>共</u> に未来に向けた
29	17頁	第2編 第1章 第3節 (1) 心豊かに暮らせるま ちづくり	少子・高齢化により地域の姿が…	(左欄の下線部を削除) 少子高齢化により地域の姿が…
30	18頁	第2編 第1章 第3節 (2) 安心のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な社会課題に柔軟に対応しながら、いつまでも健康で生きがいを感じ、<u>安心して豊かな生活を営むことができるまちづくり（＝舞鶴版スマートウェルネスシティの推進）</u>に努めるとともに、次世代に活力ある舞鶴を継承するため、<u>効率的で利便性の高い安心安全な都市基盤の形成（＝舞鶴版コンパクトシティ）</u>に努めます。 ・持てる力を<u>生</u>かして 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な社会課題に柔軟に対応しながら、次世代に活力ある舞鶴を継承するため、<u>効率的で利便性の高い安心安全な都市基盤の形成（＝舞鶴版コンパクトシティ）</u>に努めるとともに、いつまでも健康で生きがいを感じ、<u>安心して豊かな生活を営むことができるまちづくり（＝舞鶴版スマートウェルネスシティの推進）</u>に努めます。 ・持てる力を<u>活</u>かして
31	18頁	第2編 第1章 第3節 (3) 活力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、<u>日本海側拠点港「京都舞鶴港」</u>を… ・更なるブランド力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、<u>日本海側の拠点である「京都舞鶴港」</u>を… ・さらなるブランド力の向上（以降、表記を統一）
32	19頁	第2編 第1章 第5節 各主体に寄せる期待	強 <u>力</u> 関係	協 <u>力</u> 関係

【その他修正】 前期実行計画（案）変更箇所一覧

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
1	目次	目次	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章第4節第3項 スポーツを活かした元気なまちづくり・・・18 ・第1編第3章第3節 次世代に向けた社会基盤整備・・・67 ・更なる交流促進に向けた交通基盤整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章第4節第3項 スポーツを活かした元気なまちづくり・・・19 ・第1編第3章第3節 次世代に向けた社会基盤整備・・・68（以降1頁ずつずらす） ・さらなる交流促進に向けた交通基盤整備（以降、表記を統一）
2	1頁	第1編 前期実行計画において定める数値目標	（表中） <ul style="list-style-type: none"> ・2017年実績 定住人口 <u>82,900人</u> ・億円 ・2022年目標 定住人口換算 <u>約23,100人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年実績 定住人口 <u>81,900人</u> ・億円 ・2022年目標 定住人口換算 <u>約23,000人</u>
3	2頁	第1編 第1章 心豊かに暮らせるまちづくり	少子・高齢化	（左欄の下線部を削除） 少子高齢化
4	2頁	第1編 第1章 第1節 第1項 地域のつながりと新しい地域コミュニティの創造	自治会を <u>始め</u> とした	自治会を <u>はじめ</u> とした（以降、表記を統一）
5	4頁	第1編 第1章 第1節 第2項 1. ①男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり	解消を <u>めざ</u> して	解消を <u>目指</u> して
6	5頁	第1編 第1章 第2節 このまちに魅かれ移り住みたくなるまち	多様な魅力にひかれ訪れたり働いたりして、このまちに	（左欄の下線部を削除） 多様な魅力にひかれ、このまちに
7	5頁	第1編 第1章 第2節 第1項 1. ②移住相談体制の充実	担当職員移住コンシェルジュとしての	（左欄の下線部を削除） 移住コンシェルジュとしての
8	5頁	第1編 第1章 第2節 第1項 2. ①移住者も参加しやすい公民館事業の展開	住民と <u>ふれあい</u>	住民と <u>触れ合い</u> （以降、表記を統一）
9	7頁	第1編 第1章 第2節 第3項 4. 舞鶴ゆかりの人材や若者から応援されるまちづくり	また市内・外の若者から舞鶴を応援してくれる	また市内・外の若者など舞鶴の <u>地域づくりに興味を持ち、応援してくれる</u>
10	8頁	第1編 第1章 第3節 第1項 1. ②(仮称)乳幼児教育センターの設置及び機能充実	(仮称)乳幼児教育センターを設置し、関係機関と連携しながら、	（追加） (仮称)乳幼児教育センターを設置し、 <u>研究機関や療育機関、子育て支援団体等の関係機関と連携しながら、</u>
11	11頁	第1編 第1章 第3節 第2項 3. ②安心のつながり体制の充実	・繋がり	・つながり（以降、表記を統一）
12	11頁	第1編 第1章 第3節 第2項 3. ③身近な地域資源を活用した共助のコミュニティづくり	I C Tの活用(以降、表記を統一)	I C T(情報通信技術)の活用(以降、表記を統一)

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
13	12頁	第1編 第1章 第3節 第2項 4. ①児童虐待 防止対策の強化	知識・情報等の発信や啓発に努めるとと もに、 <u>児童虐待の…</u>	(左欄の下線部を削除) 知識・情報等の発信や児童虐待の…
14	13頁	第1編 第1章 第3節 第3項	自らの将来を切り拓き、 <u>力づく</u> 生き抜く	自らの将来を切り拓き、 <u>力強く</u> 生き抜く
15	14頁	第1編 第1章 第3節 第3項1. ④個性を伸ばし 児童生徒一人ひとりを 大切に <u>した学校教育の推 進</u>	数値目標 将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合 基準値 (2017) 小学校 (6年生) <u>68.3%</u> 中学校 (3年生) <u>42.6%</u>	数値目標 将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合 基準値 (2017) 小学校 (6年生) <u>66.1%</u> 中学校 (3年生) <u>41.5%</u>
16	15頁	第1編 第1章 第3節 第3項 3. ①地域との 連携による教育・子育て 支援の推進	コミュニティスクール (学校運営協議会 制度)	コミュニティ・スクール (学校運営協議 会制度) <u>(※)</u> <u>※コミュニティ・スクール (学校運営協 議会制度) …保護者や地域住民等で構成 する委員が学校運営に関して協議をする 機関を置く学校のこと。</u>
17	16頁	第1編 第1章 第4節 生涯を通じて健幸 (健 康・幸福) で文化的なま ち	環境づくりに努めて <u>まいります</u> 。	(左欄の下線部を削除) 環境づくりに努めます。
18	17頁	第1編 第1章 第4節 第1項1. ③近代化遺産 の活用	近代化遺産を誇っており、	近代化遺産を活用し、
19	17頁	第1編 第1章 第4節 第1項1. ④城下町文化 の活用	・田辺城址 ・これらを <u>保全・活用して</u> いきます。	・田辺城址 (以降、表記を統一) ・これらの <u>保全・活用を図</u> ります。
20	18頁	第1編 第1章 第4節 第2項2. ②総合文化会 館をはじめとする文化施 設の活用促進	様々な陶芸アートを活動の普及	(左欄の下線部を削除) 様々な陶芸アート活動の普及
21	22頁	第1編 第1章 第5節 第1項 低炭素化 ^(※) の 推進	代替フロン等の <u>6種類</u> のガス。	代替フロン等の <u>7種類</u> のガス。
22	22頁	第1編 第1章 第5節 第1項1.	①住まいのエネルギー自立化の促進 ②環境マネジメントシステム ^(※) (EM S) の普及	②住まいのエネルギー自立化の促進 ③環境マネジメントシステム (EMS) ^(※) の普及
23	22頁	第1編 第1章 第5節 第1項1. ③環境マネジ メントシステム (EM S) の普及	※環境マネジメントシステム…	※環境マネジメントシステム <u>(EMS)</u> …
24	23頁	第1編 第1章 第5節 第1項1. ⑤電気自動車 等の普及促進	※EV …Electric Vehicle。電気自動車。	※EV …Electric Vehicle。電気自動車。
25	23頁	第1編 第1章 第5節 第1項1. ⑥市の事務事 業に伴う温室効果ガス排 出量の削減	(数値項目) 基準値 (2013) <u>19,197t-CO2</u> 2019 <u>15,785t-CO2</u> 2020 <u>15,397t-CO2</u> 2021 <u>15,009t-CO2</u> 2022 <u>14,621t-CO2</u>	基準値 (2017) <u>16,405t-CO2</u> 2019 <u>15,334t-CO2</u> 2020 <u>14,950t-CO2</u> 2021 <u>14,651t-CO2</u> 2022 <u>14,353t-CO2</u>

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
26	23頁	第1編 第1章 第5節 第1項2. ①地球温暖化 適応策の推進	悪影響（集中豪雨などによる災害、猛暑 による健康被害、農作物の品質低下、病 害虫増加、生物多様性への影響など）に 備え、	悪影響（集中豪雨などによる災害、猛暑 による健康被害、農作物の品質低下、病 害虫増加、生物多様性への影響など）に 対応するため、
27	28頁	第1編 第1章 第1節 第1項1. ①適正な市街 化区域規模への見直し	舞鶴市都市計画マスタープランに即し、 市街化区域内にある将来にわたって…	舞鶴市都市計画マスタープランに基 づ き、市街化区域内で将来にわたって…
28	28頁	第1編 第1章 第1節 第1項1. ②用途地域の 適切な運用	舞鶴市都市計画マスタープランに即し、	舞鶴市都市計画マスタープランに基 づ き、
29	35頁	第1編 第2章 第2節 第1項 1. ③安全な河川 の整備促進		(京都府が実施している事業箇所を追 加) <u>(高野川、伊佐津川、志楽川、河辺川、 八戸地川など)</u>
30	35頁	第1編 第2章 第2節 第1項 1. ④砂防・急傾 斜事業等の促進		(京都府が実施している事業箇所を追 加) ・砂防事業…天台地区、北吸地区、白滝 地区、万願寺地区、上福井地区、城屋地 区など ・急傾斜事業…志高地区、大波下地区な ど
31	36頁	第1編 第2章 第2節 第2項 1. ③伝達手段 の充実強化		(注釈の追加) <u>※プッシュ型アプリケーション…設定さ れたスマートフォンなどの端末に自動的 に情報が配信される通信サービスのこ と。</u>
32	37頁	第1編 第2章 第2節 第2項3. ①原子力防災 への対応強化	・本市は、高浜発電所と大飯発電所から … ・住民避難計画となるよう努め、	・高浜発電所と大飯発電所から… ・住民避難計画を策定し、
33	37頁	第1編 第2章 第2節 第2項3. ②原子力防災 への取組	事業者に対し、安全性を…	電力事業者に対し、安全性を…
34	53頁	第1編 第3章 活力あ るまちづくり	本市では、 <u>日本海側拠点港</u> 「京都舞鶴 港」を…	本市では、 <u>日本海側の拠点である</u> 「京都 舞鶴港」を…
35	53頁	第1編 第3章 第1節 海・港を活かした魅力あ ふれるまち	・本市最大の地域資源である <u>京都舞鶴港</u> は ・ <u>京都舞鶴港</u> はよりグローバルな ・ <u>この考え方のもと、日本海側拠点港</u> 「 <u>京都舞鶴港</u> 」の機能強化…	(左欄の下線部を削除) ・ <u>京都舞鶴港</u> は ・よりグローバルな ・ <u>日本海側の拠点である</u> 「 <u>京都舞鶴港</u> 」 の機能強化…
36	53頁	第1編 第3章 第1節 第1項 関西経済圏の日本 海側の玄関口・京都舞鶴 港を活かした産業の振興	港湾関連業の付加価値の増加に	港湾関連産業の <u>立地促進</u> 及び付加価値の 増加に
37	53頁	第1編 第3章 第1節 第1項 1. ①取扱貨物総 量の増加	①取扱貨物総量の増加	(左欄の下線部を削除) ①取扱貨物量の増加
38	54頁	第1編 第3章 第1節 第1項2. ①クルーズ客 船やフェリーによる京都 舞鶴港を利用した旅客数 の拡大	・エリア一体となった ・環境の創出により、	・エリアが一体となった ・環境を創出することにより、

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
39	59頁	第1編 第3章 第2節 地域産業が元気で、いきいきと働けるまち	・六次産業化、一次産業 ・農林水産業の振興にあたっては、 <u>産品の販売促進</u> に加え、	・ <u>6次産業化</u> 、 <u>1次産業</u> （以降、表記を統一） ・農林水産物の販売促進を図り、
40	59頁	第1編 第3章 第2節 第1項 1. ①万願寺甘とうの生産振興と販売促進		（注釈の追加） ※地理的表示（GI）保護制度…地域で長年培われた生産方法や気候、風土、土壌などの生産地の特性により、高い品質と評価を獲得した地域ブランド産品を国が知的財産として登録・保護し、その品質を保証するとともに、生産者の利益増進や消費者等の利益保護を図る制度。
41	60頁	第1編 第3章 第2節 第1項 1. ②需要に応じた米づくりの支援	※GAP…農業において、…	※GAP… <u>Good Agricultural Practiceの略</u> 。農業において、…
42	60頁	第1編 第3章 第2節 第1項 2. ①農業を支える新たな担い手の育成支援	農業の担い手の確保及び耕作放棄地の <u>減少</u> のため、	農業の担い手の確保や耕作放棄地の利活用のため、
43	61頁	第1編 第3章 第2節 第1項 3. ①有害鳥獣対策の推進	数値項目 有害鳥獣による農作物被害金額 基準値（※） ※基準値は2015～2017年の平均値	基準値（2017）
44	62頁	第1編 第3章 第2節 第1項 4. ②木材の生産や加工に対する支援	（数値項目の単位） <u>m³</u>	<u>m³</u>
45	64頁	第1編 第3章 第2節 第2項	人材育成にも取り組みます。	（左欄の下線部を削除） 人材育成に <u>取り組み</u> ます。
46	65頁	第1編 第3章 第2節 第2項 2. ①創業支援の充実、創業者の発掘	創業支援を行うとともに、関連産業の	創業支援を行い、関連産業の
47	65頁	第1編 第3章 第2節 第2項 3. ②多様な主体のまちづくり活動の支援	アイデア持つ	アイデアを持つ
48	68頁	第1編 第3章 第3節 次世代に向けた社会基盤整備	引き続きこの地域が <u>果たすべき</u>	引き続きこの地域が <u>担うべき</u>
49	68頁	第1編 第3章 第3節 第1項 1. ①山陰新幹線の誘致	「 <u>山陰新幹線京都府北部ルート</u> 」は、 <u>地域経済の</u> ……日本の国益に寄与するものであり、	地域経済の……日本の国益に寄与する「 <u>山陰新幹線京都府北部ルート</u> 」の実現を目指して誘致活動に取り組みます。
50	71頁	第1編 第3章 第3節 第3項 1. ④訪日外国人観光客（インバウンド）を含めた来訪者の利便性向上	④訪日外国人観光客（インバウンド）を含めた来訪者の利便性向上	④訪日外国人観光客（インバウンド）を含めた来訪者の利便性向上（ <u>再掲</u> ）
51	72頁	第2編 第1節 第1項 1. ①市民の意見を活かした政策・事業づくり	・さまざまな手段を用いながら、 ・市政に生かす	・さまざまな手法を用いながら、 ・市政に <u>活かす</u>

No	頁	該当箇所	変更前	変更後
52	73頁	第2編 第1節 第1項 1. ③ 各種審議会などへの女性の参画拡大(再掲)	担当課：啓発推進課	担当課：啓発推進課 関係課
53	73頁	第2編 第1節 第1項 2. ② 行政運営の透明性と信頼性の強化	適切なルールや業務プロセス、推進体制を整備し、	適切なルールや業務プロセス及び推進体制を整備し、
54	73頁	第2編 第1節 第2項 1. ① 関係部署と連携し、戦略的にまちのブランディングを実施	①関係部署と連携し、戦略的にまちのブランディングを実施	①市民や企業、関係部署などと連携し、戦略的にまちのブランディングを実施
55	76頁	第2編 第2節 第1項 2. ③将来の財政負担を踏まえた安定的で持続可能な財政運営	・最少の経費で ・財政基盤とするため、	・最小の経費で ・財政基盤を堅持するため、 (数値項目の注釈を追加) (※1) 経常的一般財源(市税、普通交付税等)に対する経常的経費(人件費、扶助費、公債費等)の割合で、この値が低いほど財政の弾力性があると言われている。 (※2) 道路、公園等の土木施設や公共施設の整備等に充当するため、一会計年度を超えて行われる借入金。
56	78頁	第2編 第2節 第2項 1. ⑤ 公共施設の駐車場のあり方検討	受益者負担の適正化や市有財産の有効活用の観点から、	受益者負担の適正化の観点も踏まえ、
57	79頁	第2編 第2節 第3項	アグレッシブな導入	積極的な導入
58	80頁	第2編 第2節 第4項 1. ② 旧軍港市の連携	(横須賀市、呉市、佐世保市、舞鶴市)	(舞鶴市、横須賀市、呉市、佐世保市)
59	80頁	第2編 第2節 第4項 2. ① 海上自衛隊、海上保安庁等、公的機関との連携	本市では、日本海側拠点港「京都舞鶴港」を	本市では、日本海側の拠点である「京都舞鶴港」を
60	80頁	第2編 第2節 第4項 2. ③ 官民連携の推進	担当課：施設所管課	担当課：関係課
61	81頁	第2編 第3節	市は、市民の皆さん	市役所の役割は、市民の皆さん
62	81頁	第2編 第3節 第1項 1. ①総人件費の抑制	数値項目 職員数 基準値(2017) 844人	数値目標 職員数 基準値(2017) 853人
63	82頁	第2編 第3節 第2項 1. ②人事評価制度の活用	年度末に達成度を図り、	年度末に達成度を測り、
64	83頁	第2編 第3節 第2項 2. ② 女性職員の活躍	数値項目 管理・監督職に占める女性職員の割合 基準値(2017) 25%	数値項目 管理・監督職に占める女性職員の割合 基準値(2017) 24%
65	83頁	第2編 第2節 第4項 2. ③障害者雇用の推進	数値項目 障害者雇用率 基準値(2017) 1.74%	数値項目 障害者雇用率 基準値(2017) 2.19%